

白鳳丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

- * 航海番号 KH-18-6 2次研究航海
- * 観測海域 (和文) ベンガル湾および東部インド洋熱帯域
(英文) The Bay of Bengal and the tropical Eastern Indian Ocean
- * 航海期間 平成30年11月6日(火)～平成30年12月3日(月)
- * 出港日時・場所 11月 6日06時30分 プーケット港
- * 入港日時・場所 12月 3日10時 ジャカルタ港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 航海の研究題目 (和文) 東部インド洋における海洋物理・生物地球化学・生態系の総合的観測研究
(英文) Integrated physical, biogeochemical and ecosystem research in the eastern Indian Ocean
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)
齊藤宏明・東京大学・教授・hsaito@aori.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
 1. CTD および超音波流速系観測による海洋物理構造の把握、齊藤宏明(上記)、
 2. 水中照度輝度計による海水の光学特性の把握、齊藤宏明(上記)
 3. クリーン採水器を用いた採水による微量元素および同位体の鉛直分布の把握、小畑元
(obata@aori.u-tokyo.ac.jp)
 4. 採水による生元素の分布、小川浩史(hogawa@aori.u-tokyo.ac.jp)
 5. 採水による微生物の分布と機能の把握、浜崎恒二(hamasaki@aori.u-tokyo.ac.jp)
 6. 採水による巨大ウイルスと宿主生物の分布、緒方博之(ogata@kuicr.kyoto-u.ac.jp)、
 7. 培養実験による生物生産および食物網動態の把握、齊藤宏明(上記)
 8. 大量濾過器による粒状物の鉛直分布、本多牧生(hondam@jamstec.go.jp)
 9. 漂流型セジメントトラップによる粒子鉛直フラックスの把握、齊藤宏明(上記)
 10. ネット採集による動物プランクトンおよびマイクロネクトン群集構造の把握、西部裕一郎(ynishibe@aori.u-tokyo.ac.jp)

1 1. 大気中のガス、エアロゾルや雨水等の採集による、大気海洋間の物質交換の把握、岩本洋子 (y-iwamoto@hiroshima-u.ac.jp)

1 2. 東経90度の ADCP 係留系の回収と設置、植木巖 (uekii@jamstec.go.jp)

1 3. 海表面マイクロレイヤーの微生物層把握、浜崎恒二 (上記)

* 乗船研究者氏名・所属・職名

齊藤 宏明	東京大学大気海洋研究所	教授
西部 裕一郎	東京大学大気海洋研究所	准教授
平井 淳也	東京大学大気海洋研究所	助教
江 思宇	東京大学大気海洋研究所	大学院生
ジョウ ファンユイ	東京大学大気海洋研究所	大学院生
一戸 凌	東京大学大気海洋研究所	大学院生
小川 浩史	東京大学大気海洋研究所	准教授
濱崎 恒二	東京大学大気海洋研究所	教授
小畑 元	東京大学大気海洋研究所	教授
許 嘉芮	東京大学大気海洋研究所	大学院生
長友 祐太朗	東京大学農学生命科学研究科	大学院生
佐藤 拓哉	東京大学農学生命科学研究科	大学院生
佐藤 光秀	東京大学大気海洋研究所	客員研究員
橋濱 史典	東京海洋大学	助教
武田 典子	東京海洋大学	大学院生
佐々木 里樹	東京海洋大学	学部生
武田 重信	長崎大学	教授
平田 国興	長崎大学	大学院生
則末 和宏	新潟大学	准教授
浅沼 大地	新潟大学	大学院生
深澤 徹	新潟大学	大学院生
緒方 博之	京都大学	教授
遠藤 寿	京都大学	助教
本多牧生	海洋研究開発機構	上席技術研究員
松本和彦	海洋研究開発機構	研究員
岩本洋子	広島大学	助教
豊田 栄	東京工業大学	准教授
寺嶋晃太郎	東京工業大学	大学院生
川本雄大	神戸大学	大学院生
竹内 誠	東京大学	技術職員
中川 美和	東京大学	技術職員
後村大樹	マリンワークジャパン	観測技術員
林央之	マリンワークジャパン	観測技術員

* 航跡・測点図

KH-18-6 Leg.2

